

栃木県さくら市

地域おこし協力隊

募集・活動紹介Book

子ども医療費助成
県内**1位**
(全国8位)

合計特殊出生率
県内**1位**

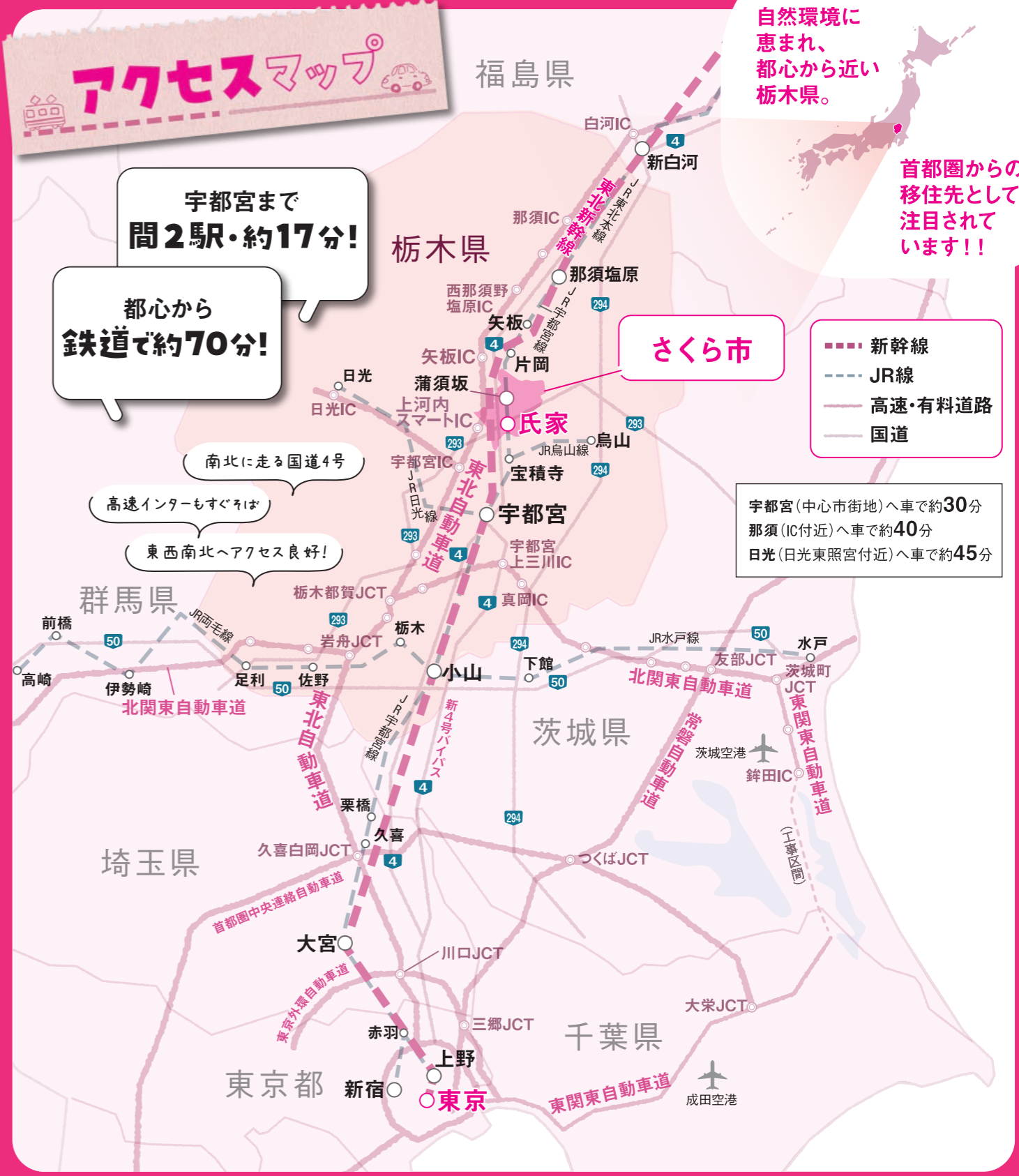
20~39歳女性人口
あたりの0~4歳児数
県内**1位**

年少人口比率
6年連続 県内**1位**

すべてが
ちょうどいい!



★★★
街の幸福度
ランキング
3年連続
県内**1位**



鉄道	上野駅	約45分	宇都宮駅	2駅	氏家駅	車	川口JCT	上河内スマートIC	さくら市
	東京駅	約50分		約17分			東北自動車道 120km 約86分		
	仙台駅	約75分		矢板IC					

担当窓口 **さくら市総合政策課 政策推進室 進化プラン係**
 TEL 028-681-1113 MAIL sogoseisaku@city.tochigi-sakura.lg.jp

事前説明・市内見学 | 応募を検討される方のご希望により、個別での事前説明や市内見学が可能です。ご希望の方は、総合政策課までお気軽にご相談ください。


Q 地域おこし協力隊とは？

「地域おこし協力隊」は、都市部に住んでいる人が担い手の不足や過疎化などの課題を抱える地域に移住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住を図る取組です。

隊員は各自治体の委嘱を受け、任期は概ね1年以上、3年未満となっています。



募集要項

募集期間	左記QRコードからご覧ください。	
募集人数	2名程度	
勤務時間	原則8:30~16:30/1日7時間・週5日 (農作業の内容により、早朝や夜間の勤務が発生する場合があります。)	
給与	月額187,870円(R6実績) 期末手当や勤勉手当、通勤手当(通勤距離による)を別途支給 12か月勤務時の想定年収は、約300万円です。	
雇用形態	さくら市会計年度任用職員	
雇用期間	令和8年4月以降・雇用から原則3年間(年毎更新)	
福利厚生	<ul style="list-style-type: none"> ●住居費(月家賃・敷礼金・保険料など)は全額市負担 ●健康保険、厚生年金、雇用保険に加入 ●活動用車両、庁内使用PCは市が貸与 ●活動で必要となる旅費や消耗品費は予算の範囲内で全額市負担 ●有給休暇は、年10日(12か月勤務時)、夏期休暇3日 	



幅広く学びます！

農業研修



農業技術や経営ノウハウ、さくら市農業の地域性などを習得し、任期後の就農やアグリレスキューの活動に取組む準備をします。

活動先は、さくら市内の農業法人や農家となり、地域に未だない先進技術や事例での研修などに取組む場合は、一部市外での活動にも取組んでいます。

活動内容

アグリレスキュー「さくら農援隊」



地域協力活動として、農業に関する地域の困り事への対応や解決を図るために活動します。主に簡易な農作業支援に取組み、この活動を通して自身の農業スキルの向上だけでなく、地域の農業者とのつながりを構築し、任期後の就農も見据えた取組を行っています。

農業PR活動



さくら市の農業などをPRするための活動です。市内外問わず活動を行っており、具体的には首都圏で開催される農業や移住関連のフェア参加や、地域の農業や子ども関連イベント出展などに取組んでいます。

また、SNSやさくら市観光ナビなどを活用した情報発信も行います。

さくら市から発信！

採用の流れ

- STEP 1 一次(書類)審査**
提出書類(履歴書・応募用紙・レポート)により選考します。
- STEP 2 二次(面接)審査**
一次審査が合格となった方を対象に、面接を実施し採用者を決定します。

求める人物像

地域の課題

人口減少社会の到来により、全国の農業従事者数は平成12年の約240万人から令和5年の約116万4千人へと、約20年間で半減しています。さくら市の農業においても人手不足の現状があり、特に農山村地域における耕作放棄地の増加など、目に見える影響があります。

求める人材

- 移住して「農」に関わるお仕事したい方、就農したい方!
- 地域貢献に関心が強い方!
- 人との交流や魅力を発信することが得意な方!

3年間の活動スケジュール例

- 1年目** 農業法人や農家における基本的な農作業
- 2年目** 希望作物などの専門的な農作業、農業大学校における研修
- 3年目** 任期後に向けた就農準備などに関する活動

●アグリレスキュー「さくら農援隊」 ●農業PR活動や移住イベント対応





栃木を代表するいちご!



SHINOMIYA AKI 篠宮 諒 隊員

移住元・前職・隊員歴 新潟県三条市

前職は三条市の地域おこし協力隊として3年間活動してきました。昨年6月からさくら市地域おこし協力隊として着任し、7カ月が経ちます。

応募したきっかけ

三条市での活動の中で、初めて農業に触れる経験をし、農業を仕事にして生きていきたいと思うようになりました。志しを同じくしたパートナーと共に農業者になるべく農業研修や農業PRのミッションを掲げていたさくら市を選んだのがきっかけです。

活動内容

いちごに関する事が活動のメインです。いちご農家での農作業支援や、農業イベント参加、農業に関わるセミナー参加に取り組んでいます。

これからやってみたいこと

農業に関わる事ももちろんですが、唯一の女性隊員として地域貢献に繋がれるような活動を形にしていきたいと思っています。子どもたちがさくら市で楽しく暮らしていけるように、ワクワクするようなイベント企画や、農業を知ってもらい、身近に感じてもらえる取組にも挑戦していきたいです。

YOSHIE MASATO 吉家 雅人 隊員

移住元・前職・隊員歴 埼玉県さいたま市

前職は会社員です。さくら市地域おこし協力隊として着任し、10カ月が経ちます。

応募したきっかけ

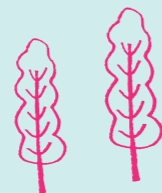
移住相談でさくら市役所を訪れた際に、総合政策課に声をかけられヘッドハンティングされました!

活動内容

3年後の独立就農に向け、農作業支援に取組み農業を学んでいます。また、農業や移住関連のイベントに出席し、農業などをとおした地域貢献活動に取り組んでいます。

これからやってみたいこと

3年間の活動で、引き続き地域農家の農作業支援や農業PRに取組み、自身の農作業で地域貢献をしたいです。



さくら市の好きな場所
ゆうゆうパークから見るサンセット!

自然者を収穫しました!

さくら市の好きな場所
★ 喜連川温泉 温泉大好きです
★ 氏家ゆうゆうパーク サンセットの時間に散歩して気分転換しています



さくら市の好きどころ

好きどころは人のあたたかさです。特に地域の農家のお母さんたちでなる「あねさん工房」の皆さんが心よく受け入れてくれ、あたたかさを感じています。そんな方々の作る美味しいおもちやまんじゅうを多くの方に知ってほしいと思います。



さくら市 地域おこし協力隊

実際
どうなの?

Q & A

NAGATANI YOSHIKI 永谷 嘉規 隊員

移住元・前職・隊員歴 東京都青梅市

前職は造園業で、これまで広告業界や学校法人の園場運営業務、農園経営を経験しました。さくら市地域おこし協力隊に着任し1年4ヵ月です。

応募したきっかけ

元々さくら市で農業を始めたいと考えており、情報収集する中で地域おこし協力隊の仕事を知り、応募しました。

活動内容

農業の技術を磨くこと、さくら市の農業を知ることを中心に、農業法人や農産加工グループにおいて研修などに取組みました。現在は、さくら市の農業を応援する「さくら農援隊」の業務に就いています。



さくら市の好きどころ
仕事をするにも
暮らすにも
「ちょうどいい」ところ!

普段は市役所の農政課に勤務!



これからやってみたいこと

「さくら農援隊」の活動を本格稼働させ、さくら市の農業を応援し、下支えしていきたいです。また、消費者の農業への理解を深めるような活動をしてみたいと考えています。

SUMIYA TAKAYUKI 住谷 貴之 隊員

移住元・前職・隊員歴 埼玉県熊谷市

前職はSE(セブンイレブンジャパン)本社に勤務していました。地域おこし協力隊として着任し、1年5ヵ月です。

応募したきっかけ

セカンドキャリアに向けて移住を検討し、両親が住んでいた喜連川エリアで活動ができる地域おこし協力隊に応募しました。地域貢献をしたいという想いのなか、市HPで募集を見つけたことが最初のきっかけです。

活動内容

「道の駅つれがわ」で、農業の方々などの繋がりを増やし、道の駅の活性化を図る活動をしています。また、さくら市の新たなお土産品の開発に携わり、商品の企画や調整に取り組んでいます。



これからやってみたいこと

- 居場所作り
現代社会の中で、孤独に感じている人が多いと思います。そのような方たちが年代および性別にこだわらず、繋がりをもち仲良く楽しめる施設を作りたいです。
- さくら市の名物作り
地域おこし協力隊のメンバーが作っている農作物や、さくら市の魅力ある特産品を色々な方に知っていただき、伝えていきたいです。

さくら市の好きどころ

★ お丸山公園!
★ ちょうどいいところ
キャッチコピーである「ちょうどいいさくら市」の通り、自分の生活感とマッチしています

YAGI TAKASHI 八木 孝 隊員

移住元・前職・隊員歴 神奈川県鎌倉市

前職は公務員で、栃木県出身の鎌倉市育ちです。昨年6月から、地域おこし協力隊として着任しています。

応募したきっかけ

出身が栃木県で、将来的には生まれたところに戻り自然と食に関する仕事をしたいと考えており、幼少期から訪れていたさくら市で農業ミッションの募集があったため応募しました。

活動内容

「さくら農援隊」という、地域の農業に関する困りごとを、依頼者と共に考え、課題解決を図る活動を行っています。また、自身の任期後の就農に関する、農家や農業法人における農作業支援にも取り組んでいます。

これからやってみたいこと

一人でも多くのさくら市民が、地域おこし協力隊のことを知り、その活動に興味をもってもらうための広報活動に取り組みたいです。また、さくら市の農業振興に資するために、さくら農援隊として農業に関する多くの課題解決が図れるよう、幅広い知識・経験やネットワークを活動の中で会得したいです。それらを生かし、特に若い世代に向けて農業の魅力を発信し、農業を通じて、市民が笑顔となるような活動につなげていくことが目標です。



道の駅を盛り上げます!



自由に
選択できる

退任後のイメージ



さくら市で農地を取得しての新規就農、農業法人や組織への就業、農産物の加工品開発や販売での起業や創業など、さくら市内での生業づくりであればさまざまな可能性があります。



01 新規就農をする場合

協力隊の活動から市の農業の状況を把握し、自身に合った作物や栽培方法を検討します。農作業に取り組みつつ、就農に関する補助金などの活用に触れ、スムーズな就農を目指します。また、農地の所有者が全く知らない人に農地を貸すことは稀であるため、活動での交流とおし信頼を得て、農地の紹介を受けやすくなる環境を作ります。

- 例えば...
- ◆引退する地域の農家から、農地や施設などを継承し就農
 - ◆有機農業で就農し、イベントや飲食店など自身で販路を開拓
 - ◆新たな価値を生む農作物や地域の特色ある農産物に挑戦して就農



1年目

- 基本的な農作業や農業知識習得
- 農業関係者とのつながり構築
- 地域の農業などについての把握



2年目

- 希望する農産物などに関する農作業や営農知識の習得



3年目

- 農地や住居などの準備
- 就農にあたる制度確認



農業法人などの組織に就業する場合

02



活動の拠点となった農業法人への就業も考えられます。大規模な農業経営に携わってみたい場合や、任期後すぐに独立就農することに不安がある際などの選択肢です。また、農業分野ではない組織と関わる機会もあるため、さまざまな組織や団体へ就業の可能性があります。

03 起業や創業する場合

活動で地域の農業や6次産業化、グリーンツーリズムの状況を把握し、起業を検討することができます。農家や加工者などとの交流を行いつつ、農業をしながら市内農産物による加工業など、新たなビジネスに展開することが目指せます。



“まちの幸福度”
県内トップ!

便利さも、自然も、豊かさも、ぜんぶイイとこどり。

「さくら市」ってどんなまち?

2005年3月に氏家町と喜連川町が合併して誕生した「さくら市」。それぞれのまちの良さが共存し、環境も、気候も、人も、すべてがおだやかで、バランスよくそろっています。市名の由来となった桜の名所も数多く点在。そして「桜の花のように美しいまち」という市名に込められた思いのとおり、日常を彩る“美しい”がいっぱい。「季節の絶景」も「美肌の名湯」もすぐそば。暮らしやすさも、豊かさも、楽しさもある、子育て世帯にぴったりのまちです。

人口	44,513人(男性23,102人、女性21,411人) (氏家エリア33,766人 喜連川エリア10,747人)
世帯数	16,370世帯 (氏家エリア12,847世帯 喜連川エリア3,523世帯)
面積	125.63㎡
気候	13.9℃(R3年平均)

2つのエリアでさくら市をCheck!

氏家エリア 利便性が魅力!



主要な国道や鉄道が通り 大都市へアクセスしやすい!

南北を走る国道4号がすぐそば。JR東北本線「氏家駅」を中心に、ほどよく都市化されたエリア。学校、病院、公共施設、飲食店など、生活に必要な施設がコンパクトに集まっています。

喜連川エリア 自然環境バグン!



風情ある街並みと おだやかな里山が広がる

歴史ある街並みと丘陵地帯が広がる自然が豊かなエリア。荒川・内川が流れ、鮎釣りの季節になると県内外から多くの釣り人が訪れます。喜連川温泉があり、効能豊かな温泉が湧出しています。

さくら市の観光スポット・特産品



道の駅きつれがわ

大正ロマンや大正モダンをテーマにした、温泉のある道の駅。



喜連川温泉

島根「斐乃上温泉」や佐賀「嬉野温泉」と並ぶ日本三大美肌の湯のひとつ。



喜連川丘陵の里 杉インテリア木工館

廃校を再利用し、家具制作や木工教室を行う。



ニッカウキスキー

自然豊かな「弥五郎の森」に、世界に愛される「ニッカウキスキー」の栃木工場がある。



喜連川温泉なす

「美肌の湯」の温泉熱を利活用した、柔らかくみずみずしい越冬なす。



日本酒「仙禽」

唯一にして随一。さくら市が誇る日本酒の蔵元。

… さくら市 魅力 ランキング …

“現在”のランキング

- 🏆 年少人口(0~14歳)比率 県内1位(6年連続) [R6年]
- 🏆 街の幸福度ランキング 県内1位(3年連続) [R6年]
- 🏆 合計特殊出生率 県内1位 [R4年]
- 🏆 子ども医療費助成 県内1位 [R6年]

“将来”のランキング

- 2050年統計人口から
- 🏆 年少人口(0~14歳)率の高さ 県内2位(10.9%)
 - 🏆 生産人口(15~64歳)率の高さ 県内3位(53.8%)
 - 🏆 高齢人口(65歳以上)率の低さ 県内2位(35.3%)
 - 🏆 総人口減少率の低さ 県内3位(14.1%)

ほかに!

かわいい市の名前ランキング 全国1位(gooランキング2022年)

鮎の生産量 東日本1位